

碧南市児童クラブ・児童センター・こどもプラザららくるにしばた・こどもプラザこころつくしんかわ指定管理者審査委員会 会議録

日時

令和4年7月22日（金）午後1時30分～午後2時50分まで

場所

碧南市役所2階 会議室1

出席者及び欠席者

- (1) 出席者 伴野義雄、渡邊颯一郎、深津邦江、西澤瑛子、杉浦英樹
- (2) 欠席者 金沢宏治、川原厚司
- (3) 事務局職員 福祉こども部長 深津広明、こども課長 中川知之、  
課長補佐 小林真代、主事 杉浦美幸
- (4) 指定管理者 碧南市社会福祉協議会事務局長 杉浦浩二、  
主任児童専門員 杉浦かおり、所長 長南直美、  
主査 井上明日香

傍聴者 0人

委員会の成立 委員定数過半数以上出席により成立

会議の公開 市HPで委員の氏名、選出機関・団体名、会議録に出欠席者  
氏名、発言内容の要旨を公表する旨説明

議事進行 伴野委員長代理

議事の要旨

議題

(1) 児童クラブ

ア 令和3年度事業報告及び決算について

イ 令和4年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<主な意見・質疑>

特になし

(2) 児童センター

ア 令和3年度事業報告及び決算について

イ 令和4年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<主な意見・質疑>

【A委員】 各利用状況だが、昨年度と比較しているものはあるが、コロナ

- 前と比較するとどうか、分かれば教えてください
- 【指定管理者】 例えば、棚尾児童センターの人数でいくと令和元年は27,500人程度です。
- 【A委員】 コロナもまた増えてきているけど、人も戻ってきているので職員の苦勞も多いかと思う。対策等も大変なのではないか。
- 【指定管理者】 こまめな消毒等の対策をとっている。場合によっては入場をお断りしなければいけないことも出てくるかと思う。今のところ夏に向けて人が増えている印象がある。
- 【A委員】 全体像として、以前は閉館させればよかったが、今は違う。アンケートにも利用を楽しみにしている声も多くあり、人も増えている。今までとは違う状況であるが、消毒だけでなく他に気を使っていることはあるか
- 【指定管理者】 こどもがなめたおもちゃは別の箱に入れて改めて消毒する、除菌の道具を用意しておき保護者に消毒してもらう、支援員がこまめに消毒するなど行っている。
- 【A委員】 おむつ交換台のような設備は市の施設のようなところでは要望しても予算の関係ですぐ対応されない場合が多い。指定管理者はどんな事務の流れで運用しているのか。利用者としては希望を出したらすぐ使いたいと思うが。
- 【指定管理者】 備品費の範囲内であれば、指定管理者の判断でより有意義に使用できるよう対応している。
- 【事務局】 予算が元々ついている場合は指定管理の範囲内で、計画的に整備する大型備品・修繕については市で予算を取って進めている。
- 【A委員】 利用者としては要望がなるべく早く通ることが望ましいと思う。指定管理の範囲内でできることは市との交渉ではなく、スピード感をもった対応をしてもらえることを希望する。
- 【指定管理者】 承知しました。
- 【B委員】 利用者からのアンケートの結果から改善、検討などフィードバックしていることがあれば教えてください。
- 【指定管理者】 東部児童センターに関して、未就園児の卓球遊びへの要望があったが、安全性を考慮してお断りをしている。また女性トイレへの男児トイレの設置希望があったが、様子を見ている。

- 【B委員】 せっかくアンケートをとっているのに、お子さん（小中高生）へのアンケートをもっと取っていただきたい。
- 【指定管理者】 努力します。

(3) こどもプラザららくるにしばた

ア 令和3年度事業報告及び決算について

イ 令和4年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<主な意見・質疑>

【B委員】 児童センターと違って、利用実績をみてもここは中高生も視野に入れて支援していることが分かる。これは大事なことだと思っている。中高生への取り組みについてここでは力を入れてやっていることなのか。

【指定管理者】 音楽教室もあり、ドラム教室なども行っているのがこの特徴。小中高生が過ごせる部屋等も整備している。そういった点では他にはない利用状況になっている。

【B委員】 中高生の居場所については今重要な課題になっている。家庭、学校に居場所がない子どもたちに地域での居場所を作るというのは非行予防や防止につながる。今後もこの割合が上がっていくように力を入れてほしい。

【指定管理者】 承知しました

【A委員】 近隣市では音楽活動ができる施設が閉鎖されたりしている。ららくるの利用人数は増えているのではないか

【指定管理者】 音楽関係に関わらず市外からの利用者は多いと聞いている。

【C委員】 ららくるの2階に勉強室がある。中高生が多く利用していると聞いている。そういったこともあって利用者は増えているのではないか。

(4) こどもプラザこころつくしんかわ

ア 令和3年度事業報告及び決算について

イ 令和4年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<主な意見・質疑>

【A委員】 ファミサポについて、具体的にはどういったサービスを行っているのか。

- 【指定管理者】 詳細な内容については今把握できていないのでお答えできないが、会員同士のマッチングや要望の把握について簡素化、ICT化できないかという意見がある。しかし要望をしっかりと理解しなければよいサポートもできない。充実した対応するためにも対面で打ち合わせをしている。
- 【C委員】 協力会員が少ない。ファミサポのチラシを見たが、協力会員の負担ばかり目立っている。実際は完全なボランティアではなく少しだが、お金ももらえる。そういったことも載せれば協力会員も増えるのではないか
- 【指定管理者】 ぜひご意見をとり入れて登録数が増えるように努力していきます。
- 【事務局】 ファミサポの制度自体が時代と共にずれてきているのではないか。利用の金額を上げる等、どうしたらよいかこれから考慮が必要だと考えている。
- 【B委員】 ファミサポの会員のアンバランスについては全国的に同じ問題が起きている。制度が始まった1995年とは高齢者のおかれている環境も状況も違う。構造的な部分でも限界に近い状態である市町村もある。ある都市では保育園の一時預かりを拡充することで育児のサポートをしている。ファミサポの制度は根本的に見直す必要がある。現在の状況として協力会員が足りず断っている状況はあるか。
- 【指定管理者】 今のところはないとのこと。
- 【B委員】 発達支援「あおぞらひろば」について、どういった流れでこの利用につながるのか。
- 【C委員】 こころづくに保育士がいる。こころづくに遊びに来ているお子さんと、発達に不安を感じているお子さんをもつ親御さんに声をかけている。保健センター関係からの紹介もある。
- 【B委員】 母子保健と連携しているということか。それはとても大事なこと。気になる段階からの早期支援が大切。定期検診から経過観察という支援のルートは作りやすいが、検診より前のルートは作るのが難しい。他にはどういったところから声がかかるのか。
- 【指定管理者】 他の支援センターでも声をかけている。  
施設として居場所作りも大切だが、日常の小さなことでも支援員に相談し、次の支援につなげるという役割もあると考える。今後は年に2回、保健師にあおぞらひろばに参加し

てもらおう予定。

(5) その他

【B委員】

中高生の居場所作り、早いうちからの発達支援といったことができる場が、どこの地域に住んでいても身近で行えるというのが理想である。そういった支援づくりを目指して地域の児童館などと連携をとっていけると良いと考える。